

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	3814
部 名	消防本部	課 名	消防総務課	課長名	門倉 豊
事務事業名	消防職員研修				
予算上の事務事業名	消防研修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防組織法、地方公務員法、相模原市消防職員学校教育及び研修要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	平成16年度消防職員研修計画		平成16年度における消防職員の研修における目的、基本方針、推進体制を策定したもの		
計画年次	16	年度～	16	年度	
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
社会情勢が著しく変化中、市民意識やその価値観等も多様化し、消防行政に求められるものも複雑多岐にわたってきている。また、多様化する災害様態や大規模な地震や風水害などの自然災害やテロ災害等の新たな事象に対応するために研修を通じて職員の資質の向上及び組織の活性化を図ることを目的とする。				消防職員	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防学校教育 67人</li> <li>・消防大学校教育 8人</li> <li>・基本研修 69人</li> <li>・職場研修 1,316人</li> <li>・派遣研修 71人</li> <li>・資格取得研修 63人</li> </ul>					
6 関連・類似事業や他市の状況	・消防学校 平成16年度県下市町村より157名入校				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	22,041	22,586	16,217	22,311	22,311
一般財源	22,041	22,586	16,217	22,311	22,311
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	4,092	3,939	3,968	3,968	3,968
事業コスト合計(a)	26,133	26,525	20,185	26,279	26,279
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	消防職員研修		対象名称(単位)	消防職員数(実員)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	22,041	22,596	16,217	22,311	22,311
対象数	589	601	594	597	605
単位あたり経費(円)	37,421	37,597	27,301	37,372	36,878
前年度比		1.00	0.73	1.37	0.99

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	消防職員研修		指標式と指標の説明	研修受講実績/研修計画数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	1,004.0	1,046.0	1,903.0		
目標	873.0	857.0	928.0	922.0	922.0
目標達成度	1.15	1.22	2.05		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	消防職員研修		指標式と指標の説明	実施研修数/研修受講職員数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	1,004.0	1,046.0	1,903.0		
目標	873.0	857.0	928.0	922.0	922.0
目標達成度	115.0	122.1	205.1		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		消防行政への市民ニーズ対応や、多様化する災害に対応するために研修を通じて職員の資質の向上及び組織の活性化を図ることが必要である。職務の重要性や危険性を考慮しさらなる充実を図る必要を感じる。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
各研修等は教育機関や関係機関で実施されている中から本市消防本部に必要なもの選択し派遣している。また、全職員に必要なものは職場研修として市職員や外部講師を招いて消防長招集等の他の行事にあわせて効率的に実施している。研修結果については研修報告書により周知している。			救急隊員や救助隊員への研修が大変多くなってきていることや、派遣に伴い当番勤務体制への影響もあるので研修方法等を考慮する必要があると思われる。また、最新の情報や研修開催等の入手を考慮しなければならない。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		消防職員の資質の向上につながる事業の実施に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			